

奇に今る 台詞

「さあ」 台詞 不素

ととに いのちかせ

周囲を みる そろと 外を見る

小用

昔もよく しずかに ぶつてり

そと 春用の ふう

気と つかの ふう

と しの 雨 かろろ

と しかく 静

静

用は ぶあ かろろ の かも ともろ

耳を すすむ

ラビオ の 音を 大きく

もう らの 雨 と 言っている

本格的

ラビオ を きいて いると

その 声に ひどい 雨が せ

さう されて いる 気になる

知っ て いる 地名を

注意 する ふうと 何回も 言っている

今社は ありさうにて

じつと ありことにかた

それとも何となく 氣に存して

外に 見なくする

あまのちあて ほんのちあて ぽりてあて

小雨に

台風 いたくまの

花あか かにあか ちのち

氣に存して ちのち ちのち

2024
8/16